

日本学術会議公開シンポジウム



日本医師会における 男女共同参画への取り組み

平成30年10月26日（金）

日本医師会
常任理事 小玉 弘之

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION 

女性医師支援・男女共同 参画への取り組みの背景



JAPAN MEDICAL ASSOCIATION  2

女性医師支援の必要性

- ◆女性医師の増加
- ◆医師偏在
- ◆M字カーブの問題
- ◆女性医師のキャリア形成の重要性

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION  3

女性医師の職場環境の現況に関する調査（2回目）
女性医師の勤務環境に関する最大規模のアンケート

女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書
平成29年8月
日本医師会男女共同参画委員会
日本医師会女性医師支援センター

※1回目（2009(平成21)年3月結果報告
JAPAN MEDICAL ASSOCIATION  4

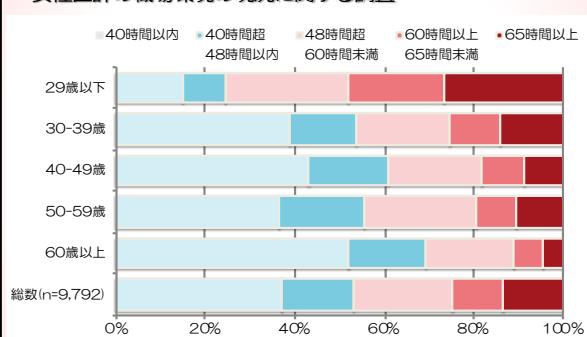
- 目的：女性医師支援をさらに具体的かつ実効あるものにするため、全国の病院勤務女性医師の現況を詳細かつ正確に把握する
- 調査期間：2017年2月～3月末
- 調査方法：全病院（8,475施設）に対して、病院に勤務する女性医師に調査票の配布を依頼。女性医師に無記名で回答していただき、調査会社へ直接返送
- 調査主体：日本医師会 男女共同参画委員会／日本医師会 女性医師支援センター
- 配布数：30,323
- 回収数：10,612
(病院勤務の全女性医師に占める回収割合 24.7%)
- 有効回答数：10,373
(配布数を分母とした場合の有効回答率 34.2%)

女性医師の働き方
女性医師の勤務環境の現況に関する調査から分かったこと

- 1週間の実勤務時間が40時間以内である人は、時短・非常勤を含めても3分の1にとどまり、**4人に1人は1か月に80時間以上の時間外労働**をしている。
- 宿日直またはオンコールには6割以上が対応していた。**29歳以下は9割以上であり、1週間の労働時間が65時間以上**となる人も多くいる。診療科によって差異があった。

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION  5

1週間の実勤務時間（年齢階級別）（n=9,792）
女性医師の職場環境の現況に関する調査



年齢階級	40時間以内	40時間超48時間以内	48時間超60時間未満	60時間以上	65時間未満
29歳以下	~20%	~20%	~30%	~20%	~10%
30-39歳	~30%	~20%	~20%	~10%	~10%
40-49歳	~40%	~15%	~20%	~10%	~5%
50-59歳	~40%	~15%	~20%	~10%	~5%
60歳以上	~50%	~10%	~20%	~10%	~5%
総数(n=9,792)	~40%	~15%	~20%	~10%	~10%

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION  6

子育てと仕事の両立

女性医師の勤務環境の現況に関する調査から分かったこと

- 子育て中の人は38%を占め、その8割以上が常勤または時短常勤である。
- 育児に夫が「まったく協力しない」と答えた人は、現在子育て中(5%)の人より、**子育て経験者(12%)の方が多かった。**
- 病院からの緊急呼び出しには、現在乳幼児子育て中の常勤者では半数以上が対応しており、その際の預け先は、「夫」が最も多かった。
- 育児休業を取得した人は、61.5%から79.4%へと増加している。

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

7

女性医師が仕事を続けるために必要な支援

女性医師の勤務環境の現況に関する調査より

勤務環境の改善に
必要なこと

- ◆宿直・日直の免除
- ◆医師の増員
- ◆時間外勤務の免除
- ◆主治医制の見直し
- ◆フレックス制度導入
- ◆短時間常勤
- ◆代診医師派遣制度
- ◆配置転換等

子育てに関して
必要なこと

- ◆病児保育
- ◆保育施設
- ◆男性の家事・育児参加
- ◆学童保育
- ◆院内保育所
- ◆保育施設やベビーシッターの斡旋
- ◆保育費用の助成

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

8

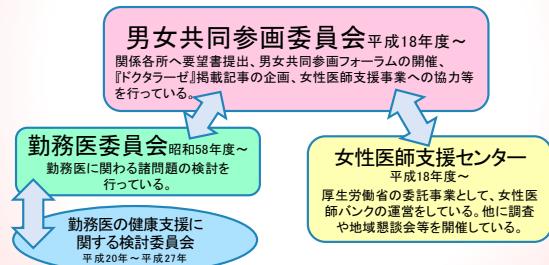
日本医師会における 女性医師支援・男女共同参画 への具体的な取り組み

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

9

日本医師会における女性医師支援・ 男女共同参画に関する委員会・部署

男女共同参画委員会、勤務医委員会、女性医師支援センターにおいて、女性医師の就業支援や男女共同参画に関する取り組みをしている。



JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

10

日本医師会における女性医師支援・男女 共同参画の具体的な取り組み内容

- 制度等の整備
- 各種調査の実施
- 意識改革
- 女性医師支援センター事業

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

11

日本医師会における女性医師支援・男女共同参画への具体的な取り組み内容

I. 制度等の整備

(事例 1) 臨床研修制度における産休育休期間中の身分保障。休止期間が90日を超える場合の取り扱いについて、厚生労働省の省令に明記された。

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

12

日本医師会における女性医師支援・男女共同参画への具体的な取り組み内容

I. 制度等の整備

日医会長から厚生労働大臣宛てて要望書を提出

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

13

日本医師会における女性医師支援・男女共同参画への具体的な取り組み内容

I. 制度等の整備

各地方厚生局に通知が出た

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

14

日本医師会における女性医師支援・男女共同参画への具体的な取り組み内容

I. 制度等の整備

(事例2) 施設基準の「専従の常勤医師」配置要件の緩和を要望し、施設基準上求められる常勤従事者が、産休・育休・介護休業を取得した場合、複数の非常勤医師の組み合わせで算定可能となった。

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

15

日本医師会における女性医師支援・男女共同参画への具体的な取り組み内容

I. 制度等の整備

例えは・・・

回復期リハビリテーション病棟入院料、地域包括ケア病棟入院料・地域包括ケア入院医療管理料等、専従の常勤医師や専従の理学療法士、作業療法士等を求めているものがある。

平成28年度診療報酬改定では、「施設基準等における常勤配置とは、従事者が産前産後休業、育児休業、介護休業等を取得中の期間において、当該施設基準等において求められる資質を有する複数の非常勤従事者の常勤換算後の人員数を原則として含める。また、正職員として勤務する者について、育児・介護休業により当該労働者の所定労働時間が短縮された場合には、週30時間以上の勤務で常勤扱いとする。」とされた。

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

16

日本医師会における女性医師支援・男女共同参画への具体的な取り組み内容

I. 制度等の整備

(事例3) 保育サービスについて紹介する保育システム相談員の設置を国に要望し、平成21年度より女性医師等就労支援事業として女性医師等相談窓口の予算措置実現。

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

17

日本医師会における女性医師支援・男女共同参画への具体的な取り組み内容

I. 制度等の整備

女性医師等就労支援事業
(都道府県に対する補助事業)

厚生労働省ホームページより

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

18

I. 制度等の整備

(事例4) 日本医療機能評価機構に対し、医療機能評価項目に、
1. ゆとりある勤務体制
2. 子育てしながら勤務できる支援体制
3. 休業後の再就業を支援する体制

を加えるよう働きかけ。平成21年7月運用開始の病院機能評価統合版評価項目V6.0より項目に加えられた。

I. 制度等の整備(会内)

- ◆日本医師会会費の産休・育休中の減免を平成22年4月より実施。
- ◆日本医師会が行う研修会等へ託児室併設。平成19年度より日本医師会事業計画に明記。

II. 各種調査の実施

男女共同参画に関して、現状把握や問題点の発見のため、様々な調査を行っている。

- 女性医師の勤務環境の現況に関する調査
国内の全病院に勤務する女性医師に調査票を配布し、無記名で回答。2009年3月、2017年8月実施。
- 男女共同参画に対する男性の意識調査
平成25年8月実施。全国の臨床研修病院1,070施設に依頼し、勤務する男性医師に21,400部配付。回収率は:32.5%。
- 都道府県医師会における女性医師に関わる問題への取り組み状況調査
都道府県医師会の男女共同参画への取り組み状況を把握するため、隔年で継続調査している。

III. 意識改革

- ・医学生・研修医等をサポートするための会
- ・協議会等の開催
- ・『ドクターラーゼ』の発行
- ・男女共同参画フォーラムの開催
- ・地域における女性医師支援懇談会

医学生・研修医等をサポートするための会

医学生や若い医師がキャリアを継続できるよう、講習会において多様な医師像のモデルを提示する。
平成29年度は61回開催。



女性医師がキャリア継続するには、職場や家庭における男性の理解と協力が不可欠。性別を問わず、若い時期から男女共同参画やワークライフバランスについて理解を深めておくことが重要。

男女共同参画フォーラム

男女共同参画への理解を深めるため、毎年行っている。
平成30年は5月に高知県で開催した。平成31年は7月に宮城県で開催予定。

直近の男女共同参画フォーラムテーマ

- ・第8回 変わる~男女共同参画が啓くワークライフバランス
- ・第9回 みんなちがって、みんないい
- ・第10回 医療界における男女共同参画のさらなる推進に向けて
- ・第11回 共同から協働へ~多様性を生かしたワークシェアリング~
- ・第12回 男女共同参画が医療界にもたらすメリットとそのエビデンス
- ・第13回 今後10年の医療界で男女共同参画は何をめざすか
- ・第14回 次世代がさらに輝ける医療環境をめざして
～超高齢社会で若者に期待する～